

山梨県側から静岡県内に向けた高速長尺先進ボーリングについて

◆現在までの進捗について (図1, 2参照)

- ・令和6年5月に、県境より501mの地点から高速長尺先進ボーリングを開始しました。
- ・9月5日時点で、孔口から185m削孔しています。(県境まで316mの地点)

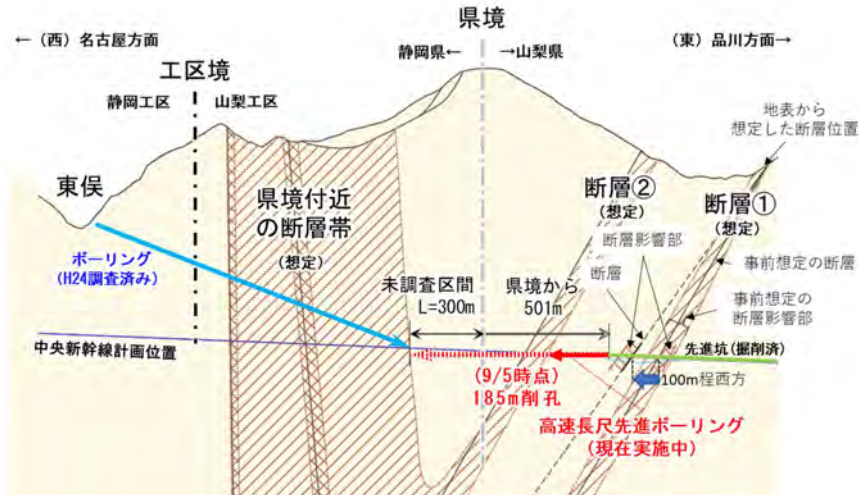


図1 ボーリングの概要と現在までの進捗 (縦断面図)

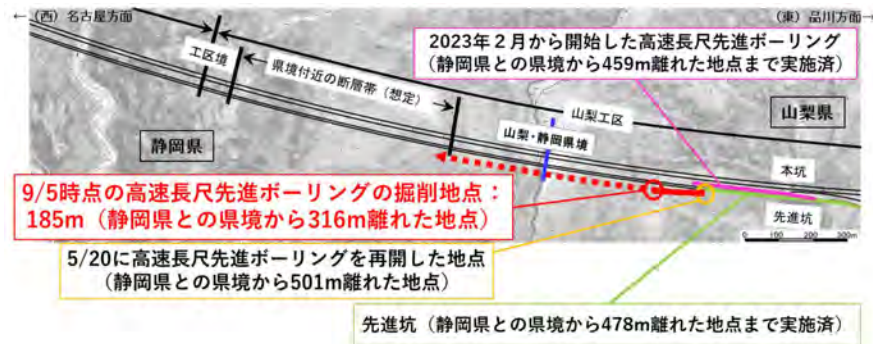


図2 ボーリングの概要と現在までの進捗 (平面図)

- ・一部軟弱な地山が確認されたため、当初計画 (Φ200mm ノンコアで孔口から200m地点まで削孔した後に拡径・ケーシング挿入) より手前 (孔口から160m付近) で、拡径・ケーシング挿入に切り替えるなど、より慎重に削孔を進めました。

◆現在までの削孔結果 ※速報段階のため最終評価は変わる可能性があります

- ・粘板岩及び砂岩粘板岩互層の地質が確認されています。
- ・孔口から130~160mでは連続的に掘削エネルギー値が低くなっており (図3参照)、岩石片も粒径が均一では無いため、軟弱な地山が続いているものと考えられます。特に、孔口から145m付近からはシルト質 (泥状) の岩石片が排出されました。(図4参照)

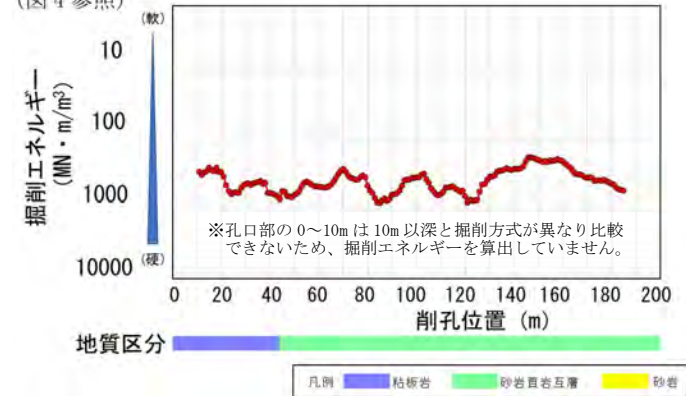


図3 掘削エネルギーの推移 (孔口から0m~201m) (県境まで501m~300m)



図4 岩石片 (スライム) の状況 (左: 孔口から50m付近、右: 孔口から145m付近)

- ・水温、水質 (pH、EC) については顕著な変動は無く、湧水量は0.00043m³/秒程度で少ない状況が続いています。

◆今後の計画について

- ・県境より300mの地点に達して以降は、ボーリングの湧水量や水質 (水温、pH、電気伝導度) について頻度を上げて日毎に報告を実施しつつ、スリパチ沢の流量や河川流量の計測も実施し、測定や確認の都度速やかに報告します。また、直近では断層②付近において採水・成分分析及び湧水圧試験を実施し、その結果をご報告します。
- ・引き続き慎重に削孔を進め、今後、県境を越えて静岡県内においても調査を実施し、地質及び地下水に関わる不確実性の低減を図るとともにリスク管理やリスク対策を確実に行うことで、流域の皆様のご安心に繋げてまいりたいと考えています。